

茨城大学授業支援システム利用規約

この規約は、茨城大学大学教育センター（以下「大教センター」という。）が運営する、授業支援システム RENANDI®（以下「本サービス」という。）の円滑な運用を図るために必要な事項を定めるものである。

第1章 総則

第2章 利用者向けサービス

第3章 利用者の義務

第4章 サービスの条件、内容変更、中断及び停止

第5章 その他雑則

第1章 総則

（規約の適用）

第1条 本規約は、第6条で規定する利用者が、本サービスを利用する場合の一切に適用される。

2. 本サービスの利用申込者及び利用者は、大教センターが利用を承認した時点で、本規約の内容を承諾しているものとみなす。

3. 本規約の準拠法はすべて日本国法とし、本規約に関して紛争が生じた場合、茨城大学（以下「本学」という。）所在地を管轄する地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

（用語の定義）

第2条 本規約において使用する用語の定義は、それぞれ次のとおりとする。

(1) 「ID」とは、システム上で利用者を識別するための符号をいう。

(2) 「アカウント」とは、サービスの利用権を指し、IDとパスワードの対からなるものをいう。

(3) 「共通認証基盤アカウント」とは、本学の共通認証基盤で認証を受けるために発行されるアカウントをいう。

(4) 「独自認証」とは、本サービスが独自に発行するアカウントを用いた認証をいう。

(5) 「(本サービス上の) 科目」とは、本サービスで講義を運営するための基本単位をいう。

(6) 「科目担当教員」とは、本サービス上の科目内における役割を指し、科目内の講義を運営できる利用者をいう。

(7) 「筆頭担当教員」とは、ある科目の科目担当教員として登録された利用者のうち、一番目に表示される者をいう。

(8) 「科目 TA」とは、本サービス上の科目内における役割を指し、科目担当教員に準じる操作ができる利用者をいう。

(9) 「科目受講者」とは、本サービス上の科目内における役割を指し、科目内の講義に参加できる利用者をいう。

(10) 「RENANDI」とは、日本ユニシス株式会社の登録商標をいう。

（利用目的）

第3条 本サービスは、非営利目的かつ教育目的に限って利用することができる。

（利用者への通知）

第4条 大教センターから利用者への通知は、別段の定めのない限り、通知内容を電子メール、書面又は大教センターのウェブサイトに掲載するなど、大教センターが適当と判断する方法により行う。

2. 前項の規定に基づき、大教センターから利用者への通知を電子メールの送信又は大教センターのホームペー

ジへの掲載の方法により行う場合には、利用者に対する当該通知は、それぞれ電子メールの送信又はホームページへの掲載がなされた時点から効力を生じるものとする。

(規約の変更)

第5条 本サービスの現状に合わせて、利用者の了承を得ることなく本規約を随時改訂できるものとする。なお、改訂した規約は前条第1項の規定に基づき利用者に通知するものとする。

第2章 利用者向けサービス

(利用者)

第6条 本サービスの利用者は、次のとおりとする。

- (1) 国立大学法人茨城大学（以下「法人」という。）の常勤教職員
- (2) 法人の非常勤教職員
- (3) 本学の正規生 学部生、大学院生及び専攻科生
- (4) 本学の非正規生 科目等履修生、特別聴講学生、委託生、研究生、特別研究学生、博士特別研究生及びこれらに準じる者。ただし、公開講座及び公開授業の受講生を除く。
- (5) その他の身分 前各号以外の者で、大教センターが特別にアカウントの発行を認めた者

(利用の承認と不承認)

第7条 大教センターは、必要な審査・手続等を経た後に本サービスの利用を承認する。

2. 大教センターは、利用申込者が次の各号のいずれかに該当する場合、その者の利用を承認しないことができる。

- (1) 利用申込者が実在しない場合
- (2) 利用申込者が既に利用者になっている場合
- (3) 利用申込の際の申告事項に、虚偽の記載、誤記入又は記入漏れがあった場合
- (4) 利用申込者が過去に本規約の違反を行っている場合
- (5) 利用申込者が前条各号に該当しない場合
- (6) その他大教センターが不適切と判断した場合

(アカウント登録)

第8条 大教センターは、前条の規定に基づき本サービスの利用を承認された者に対して、アカウントを発行する。その際、本サービスへのログインには原則として本学共通認証基盤アカウントを用いるものとする。

2. 第6条第1号及び第2号に規定する教職員はすべて、共通認証基盤アカウントを本サービスのアカウントとする。

3. 第6条第3号及び第4号に規定する学生はすべて、共通認証基盤アカウントを本サービスのアカウントとする。

4. 第6条第5号に規定する利用者は、原則として共通認証基盤アカウントを本サービスのアカウントとし、独自認証アカウントを用いる場合には、その利用目的を大教センターが認めた本サービスのデモンストレーション体験に限るものとする。

5. 第2項の規定により有効なアカウントを本サービス上に保持する教職員は、本サービスの独自認証アカウントを別に保持できる。ただし、その利用目的は本サービスの受講者画面の確認用に限るものとし、独自認証アカウントの発行及び無効化は大教センターが行うものとする。

6. 大教センターは、前2項のほか、本サービスの管理上必要と認められる場合に限り、独自認証アカウント

を発行する。

(科目開設)

第9条 本サービスに登録できる科目は、原則として学部開講科目及び大学院開講科目とする。

2. 前項に該当しない科目の開設については、大教センターは、必要な審査・手続等を経た後に利用を承認する。

3. 本サービス上の科目の筆頭担当教員は原則として第6条第1号及び第2号に規定する教職員とする。

(科目管理)

第10条 本サービスの科目への受講者登録及び科目TA登録については、科目担当教員又はその代行者の依頼に基づき大教センターがこれを行う。

2. 本サービス上での教材登録等のコンテンツ操作及び科目内の設定については、原則として科目担当教員がこれを行う。

第3章 利用者の義務

(茨城大学情報セキュリティポリシーの遵守)

第11条 本サービスの利用者は、茨城大学情報セキュリティポリシーのうち次に掲げる方針等を遵守しなければならない。

(1) A1000 基本方針

<http://www.ibaraki.ac.jp/isp/A1000-KihonHoushin.html>

(2) A2201 情報システム利用規程

<http://www.ibaraki.ac.jp/isp/gakunai/A2201-JohoSystemRiyouKitei.html>

(3) A2104 情報格付け基準

<http://www.ibaraki.ac.jp/isp/gakunai/A2104-JohoKakudukeKijun.html>

(自己責任の原則)

第12条 利用者は、自己のID及びパスワードにより本サービスを利用してなされた一切の行為及びその結果について、一切の責任を負うものとする。

2. 利用者は、本サービスの利用に伴い、第三者からの問合せ、システムの設定ミスやシステムのバグに由来しないクレーム等が通知された場合は、自己の責任と費用負担をもって処理解決するものとする。

3. 本サービスにアップロードされたコンテンツをめぐってトラブルが発生した場合は、当事者間で解決することとし、大教センターは一切の責任を負わないものとする。

4. 利用者は、本サービスの利用により大教センター又は第三者に対して損害を与えた場合、自己の責任と費用負担をもって損害を賠償するものとする。

5. 大教センターは、利用者が使用するいかなる機器・ソフトウェアについても、その動作保証を一切行わないものとする。

(禁止事項)

第13条 利用者は、本サービス上で次の行為を行ってはならない。

(1) アカウントを不正に使用する行為

(2) 本サービスを通じて、又は本サービスに関連してコンピュータウィルス等の有害なプログラムを使用又は提供する行為

(3) 派生的制作物の作成が許されていないコンテンツについて、その全部又は一部の修正及びコンテンツを基にした派生的制作物を作成する行為

(4) RENANDIの商標等の知的財産権を侵害する行為又はそのおそれのある行為

(5) 本サービスを通じて入手したデータ、情報、文章、ソフトウェア等に関し、著作権法で認められた私的利用の範囲を超え複製、販売、出版等を行う行為

(6) 第三者の財産、プライバシー若しくは肖像権を侵害する行為又はそのおそれのある行為

(7) 第三者を差別若しくは誹謗中傷し又は第三者の名誉若しくは信用を毀損する行為

(8) 犯罪的行為若しくは犯罪的行為に結び付く行為又はそのおそれのある行為

(9) 性風俗、宗教、政治に関する活動

(10) 前各号のほか、法令、本規約若しくは公序良俗に違反する行為、本サービスの運営を妨害する行為、大教センターの信用を毀損若しくは財産を侵害する行為又は大教センターに不利益を与える行為

(11) 茨城大学情報セキュリティポリシーのうち第 11 条各号に掲げる方針等に違反する行為

(12) 前各号のいずれかに該当する行為を助長する行為

(13) その他大教センターが不適切と認める行為

(秘密保持義務)

第 14 条 利用者は、本サービスで提供されている情報のうち、一般に公開されている以外の情報を本サービス以外の場所で公開してはならない。特に、本人の許諾なしに個人情報を本サービス以外に流出させる行為を行ってはならない。

(利用資格の中断・取り消し)

第 15 条 利用者が前 2 条の規定に違反した場合、大教センターは事前に通知することなく直ちに当該利用者の利用資格を中断又は将来に向かって取り消すことができるものとする。

2. 大教センターは、前項の措置を取ったことにより当該利用者が本サービスを利用できず、これにより損害が発生したとしても一切の責任を負わないものとする。

第 4 章 サービスの条件、内容変更、中断及び停止

(サービス条件)

第 16 条 大教センターは、本サービスの運営に関し、本サービスの利用を監視し、必要と認める場合、その裁量において本サービスへのアクセスを制限することができる。

2. 大教センターは、本サービス上の掲示板等において大教センターが不適切と認める書込み等をその裁量において削除することができる。

(サービス内容等の変更)

第 17 条 大教センターは、利用者への事前の通知なくして本サービスの内容、名称を変更することができる。

(サービスの一時的な中断)

第 18 条 大教センターは、次の各号のいずれかの事由が生じた場合には、利用者に事前に通知することなく一時的に本サービスを中断することができる。

(1) 本サービス用設備等の保守を定期的又は緊急に行う場合

(2) 停電、火災、災害、騒乱、労働争議等、やむを得ない事情により本サービスの提供ができなくなった場合

(3) その他、運用上又は技術上、大教センターが本サービスの一時的な中断が必要と判断した場合

(サービス提供の中止及び遅延)

第 19 条 大教センターは、事前通知をした上で本サービスの全部又は一部の提供を中止することができる。

2. 前項の事前通知は第 4 条第 1 項の規定を準用して行うものとする。ただし、緊急やむを得ない場合は、事前通知を省略することができる。

3. 大教センターは、前条の事由その他やむを得ない事由により本サービスの提供の遅延又は中断等が発生した

としても、これに起因する利用者又は第三者が被った損害について一切責任を負わないものとする。

(データ保全)

第 20 条 大教センターは、利用者が本サービスを通じて得る情報等について、その完全性、正確性、確実性、有用性などについて、いかなる保証も行わないものとする。

2. 大教センターは、本サービスのバックアップデータを取得し、障害によってデータが破損・消失した場合には、可能な範囲で回復措置を講じることに努めるものとする。

3. 前項のバックアップデータについて、大教センターはデータの完全性等を含めいかなる保証も行わないものとする。

(コンテンツの停止)

第 21 条 利用者が第 13 条若しくは第 14 条に違反した場合、又は次の各号のいずれかの事由に該当する場合は、大教センターは、当該利用者に通知することなく、当該利用者の本サービス上のコンテンツを、他の利用者から閲覧できない状態にするか、削除を行うものとする。

(1) 利用者が本学を離職するなどして本サービスの利用資格を喪失後、1 か月 (仮) が経過した場合

(2) 大教センターが利用者の死亡を知った場合

第 5 章 その他雑則

(利用者情報及びアクセスログの公開)

第 22 条 大教センターは、本サービスの提供を通して知り得た利用者の個人情報を次の場合を除き、第三者(本学及び利用者を除く。以下この条において同じ。)に開示又は漏洩しないものとする。

(1) 司法機関、行政機関その他これらに準ずる機関から適法に照会があった場合

(2) 本サービスの運営維持に問題が生じる場合

(3) 利用者が、法令又は本学が定める規約に違反した場合

(4) 利用者の本サービス利用上の行為について、社会通念上問題があると判断された場合

(5) 本学又は第三者の権利や利益を保護するため必要とする場合

(6) 本サービスのサービス向上等の目的で個人情報を集計及び分析する場合

(7) 前号の集計及び分析等により得られたものを、個人を識別又は特定できない態様にて提携先等の第三者に開示又は提供する場合

(8) その他利用者の同意を得た上で個人情報を開示又は利用する場合

(知的財産権)

第 23 条 本サービスを提供するためのシステム及び本サービスにおいて、大教センターが利用者に提供する一切の著作物に関する著作権(著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む。)及び著作者人格権並びにそれに含まれるノウハウ等の知的財産権は、大教センター又はその供給者に帰属する。

2. 利用者は、前項に定める著作物等を次のとおり取り扱わなければならない。

(1) 本規約にしたがって本サービスを利用するためにのみ使用すること。

(2) 複製、改変、頒布等を行わず、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブルを行わないこと。

(3) 営利目的の有無にかかわらず、第三者に貸与、譲渡、担保設定等しないこと。

(4) 大教センター又はその供給者が表示した著作権・商標等を削除又は変更しないこと。

3. 利用者が前項の規定に違反した場合、大教センターは事前に通知することなく直ちに当該利用者の利用資格を中断または又は将来に向かって取り消すことができるものとする。

4. 大教センターは、前項の措置を取ったことにより当該利用者が本サービスを利用できず、これにより損害が発生したとしても一切の責任を負わないものとする。